

中小企業景気動向調査結果

(平成30年10月～12月期実績と平成31年3月期の見通し)

調査日 平成30年11月中旬

調査方法 当金庫職員による面接聴き取り調査

調査対象 当金庫取引先116社(製造業 40社、卸売業 7社、小売業 25社、サービス業 16社、建設業 21社、不動産業 7社)

有効回答率 80%

分析方法 (DI):diffusion index 「良い」とみる割合から「悪い」とみる割合を引いたもの。

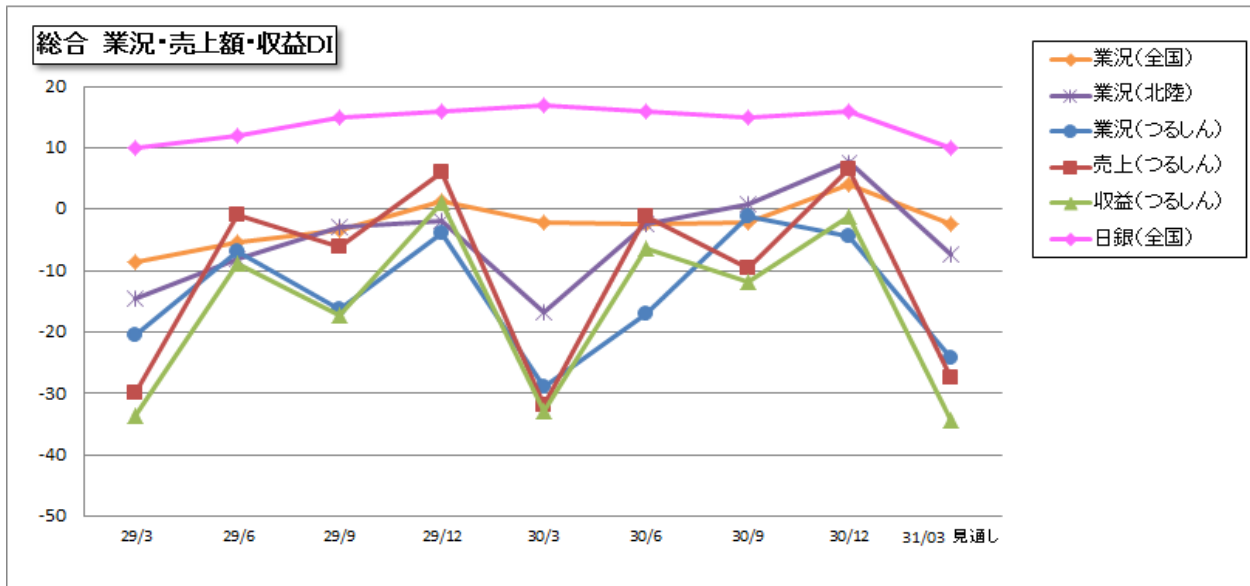
「良い」(上昇) および「やや良い」(やや上昇) の割合 - 「悪い」(低下) および「やや悪い」(やや低下) の割合。

概況 10～12月期業況悪化は、予想を上回る上げ幅となりました

今期の全業種総合業況DIは、前期に比べ 7.4 ポイント低下の▲8.5 と予想していたが、予想を 4.1 ポイント上回る▲4.4 となり、前期比 3.3 ポイントとの小幅低下となりました。次回見通しについては、▲24.2 と大幅に低下する見通しとなっています。

売上額DIは、前期比 16.1 ポイント改善の 6.5、収益DIは、前期比 10.7 ポイント改善の▲1.1 となりました。

全業種総合業況DIの来期見通しは、「日銀」はやや低下する見通しの 10 となっているが、「全国」は▲2.3、「北陸」は▲7.4、「つるしん」は▲24.2 と大幅に低下する見通しとなっています。



※ 全国・北陸のデータは、信金中央金庫の「全国中小企業景気動向調査」を参照しています。

業種別業況天気図	29年12月	30年3月	30年6月	前回 30年9月	今回 30年12月	次回見通し 31年3月
総合	-4	-29	-17	-1	-4	-24
製造業	-9	-33	-24	0	-3	-16
卸売業	29	-50	-17	-33	20	-60
小売業	-29	-55	-32	-13	-25	-45
サービス業	0	-7	-39	-31	-15	-46
建設業	22	0	31	41	18	6
不動産業	-17	-25	0	20	0	0

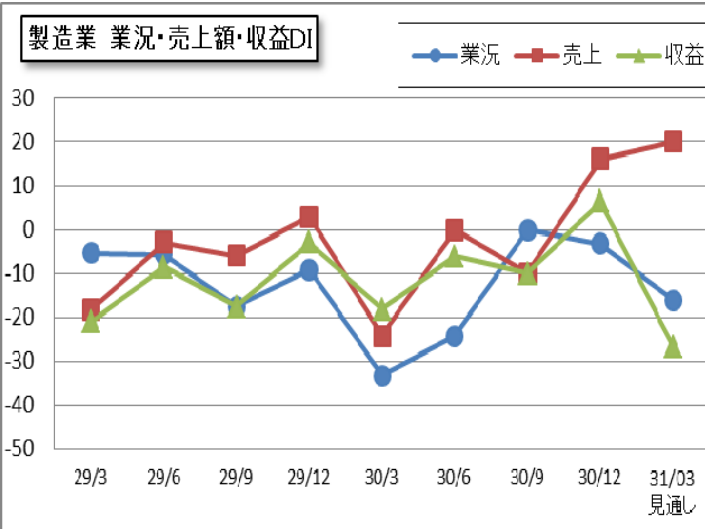
好調 ← (業況DI目安) 100 ← 40 ← 25 ← 0 → △25 → △40 → 低調 → △100

業種別の特徴(業況DI)

製造業

今回調査業況DIは、「▲3.2」

～ 前回調査比 3.2ポイントの低下 ～



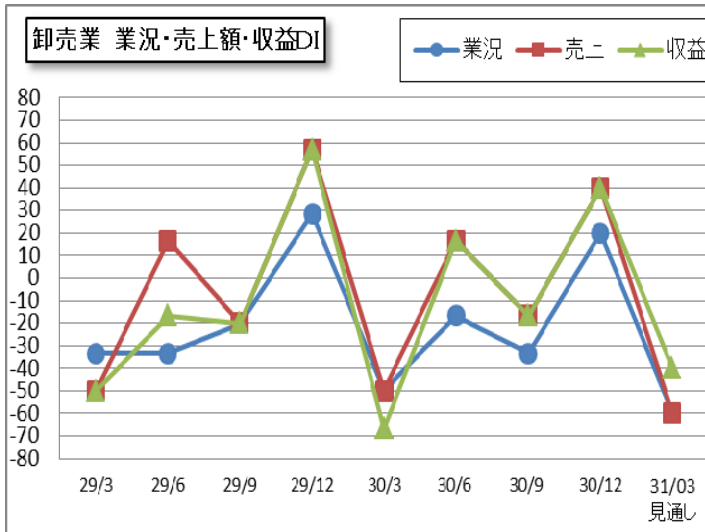
【製造業 主要DI】

	30年 3月	6月	前回 9月	今回 12月	次回 見通し 31年3月	方向 (前回比)
業況判断	▲33.3	▲24.2	0.0	▲3.2	▲16.1	↘
売上額	▲24.2	0.0	▲10.0	16.1	▲20.0	↗
収益	▲18.2	▲6.1	▲10.0	6.5	▲26.7	↗
販売価格	▲6.3	12.1	3.4	▲3.3	▲3.4	↘
原材料価格	22.6	30.3	25.0	24.1	14.8	↘
原材料在庫	▲3.3	9.1	▲7.1	▲10.3	▲3.7	↘
資金繰り	▲15.2	▲3.0	▲13.3	▲9.7	▲16.7	↗
人手	▲27.3	▲12.1	▲30.0	▲30.0	▲23.3	→

卸売業

今回調査業況DIは、「20.0」

～ 前回調査比 53.3ポイントの上昇 ～



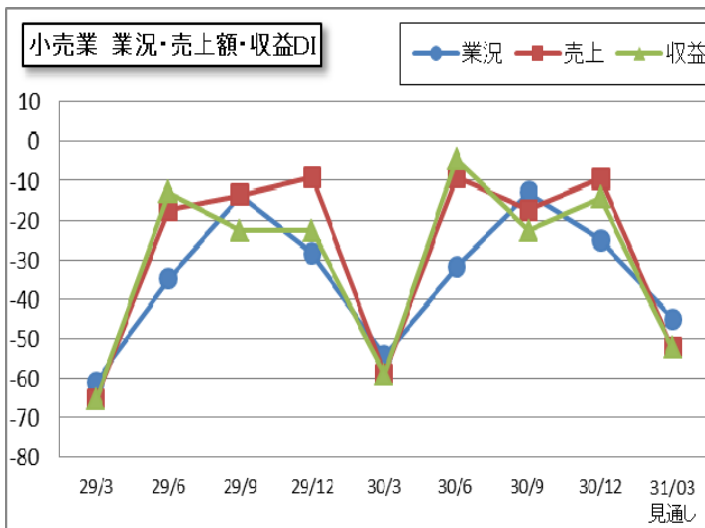
【卸売業 主要DI】

	30年 3月	6月	前回 9月	今回 12月	次回 見通し 31年3月	方向 (前回比)
業況判断	▲50.0	▲16.7	▲33.3	20.0	▲60.0	↗
売上額	▲50.0	16.7	▲16.7	40.0	▲60.0	↗
収益	▲66.7	16.7	▲16.7	40.0	▲40.0	↗
販売価格	▲33.3	▲16.7	▲16.7	0.0	0.0	↗
仕入価格	▲16.7	0.0	33.3	60.0	▲20.0	↗
在庫	▲16.7	0.0	16.7	▲20.0	▲20.0	↘
資金繰り	▲50.0	0.0	▲16.7	0.0	0.0	↗
人手	▲16.7	0.0	▲33.3	▲20.0	▲20.0	↗

小売業

今回調査業況DIは、「▲25.0」

～ 前回調査比 12.0ポイントの低下～



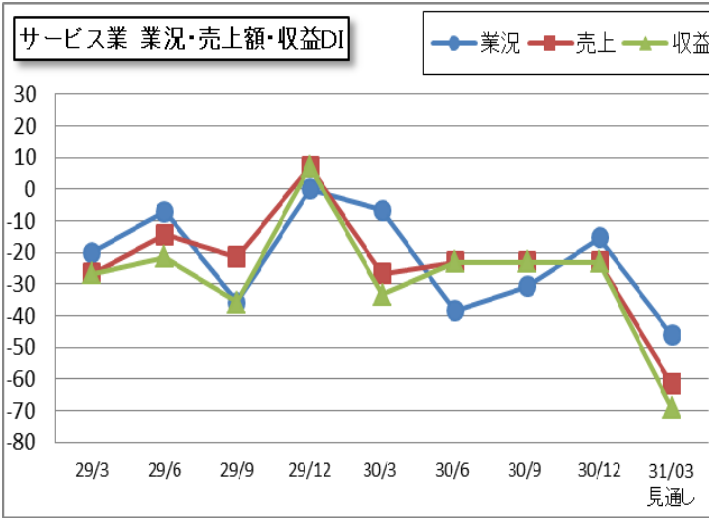
【小売業 主要DI】

	30年 3月	6月	前回 9月	今回 12月	次回 見通し 31年3月	方向 (前回比)
業況判断	▲54.5	▲31.8	▲13.0	▲25.0	▲45.0	↘
売上額	▲59.1	▲9.1	▲17.4	▲9.5	▲52.4	↗
収益	▲59.1	▲4.5	▲22.7	▲14.3	▲52.4	↗
販売価格	▲18.2	9.1	▲4.5	4.8	4.8	↗
仕入価格	22.7	40.9	36.4	28.6	23.8	↘
在庫	0.0	4.5	0.0	9.5	14.3	↗
資金繰り	▲36.4	▲9.1	▲18.2	▲23.8	▲23.8	↘
人手	▲14.3	▲18.2	▲19.0	▲5.0	0.0	↗

サービス業

今回調査業況DIは、「▲15.4」

～ 前回調査比 15.4ポイントの上昇 ～



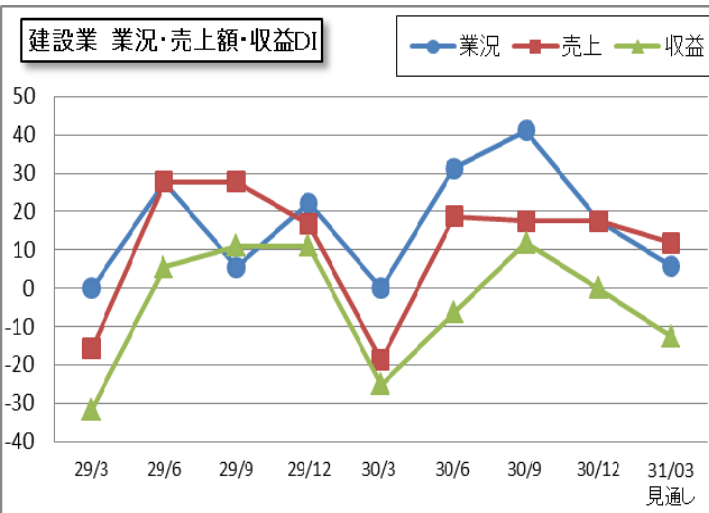
【サービス業 主要DI】

	30年 3月	6月	前回 9月	今回 12月	次回 見通し 31年3月	方向 (前回比)
業況判断	▲6.7	▲38.5	▲30.8	▲15.4	▲46.2	↗
売上額	▲26.7	▲23.1	▲23.1	▲23.1	▲61.5	→
収益	▲33.3	▲23.1	▲23.1	▲23.1	▲69.2	→
料金価格	6.7	15.4	▲15.4	▲7.7	7.7	↗
材料価格	26.7	38.5	▲7.7	15.4	30.8	↗
資金繰り	0.0	0.0	▲15.4	▲38.5	▲38.5	↘
人手	▲26.7	▲23.1	▲15.4	▲7.7	▲23.1	↗

建設業

今回調査業況DIは、「17.6」

～ 前回調査比 23.6ポイントの低下 ～



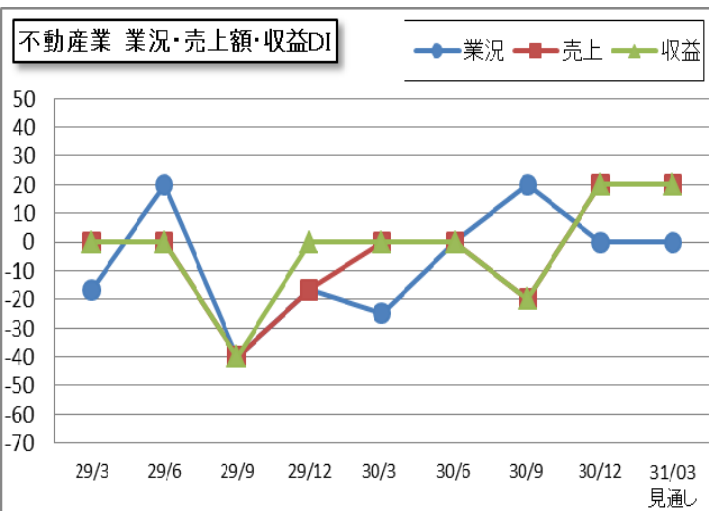
【建設業 主要DI】

	30年 3月	6月	前回 9月	今回 12月	次回 見通し 31年3月	方向 (前回比)
業況判断	0.0	31.3	41.2	17.6	5.9	↘
売上額	▲18.8	18.8	17.6	17.6	11.8	→
収益	▲25.0	▲6.3	11.8	0.0	▲12.5	↘
請負価格	▲12.5	0.0	23.5	▲5.9	▲6.3	↘
材料価格	25.0	18.8	47.1	35.3	18.8	↘
在庫	0.0	6.3	0.0	0.0	13.3	→
資金繰り	▲6.3	6.3	0.0	5.9	▲6.3	↗
人手	▲31.3	▲6.3	▲11.8	▲35.3	▲29.4	↘

不動産業

今回調査業況DIは、「0.0」

～ 前回調査比 20.0ポイントの低下 ～

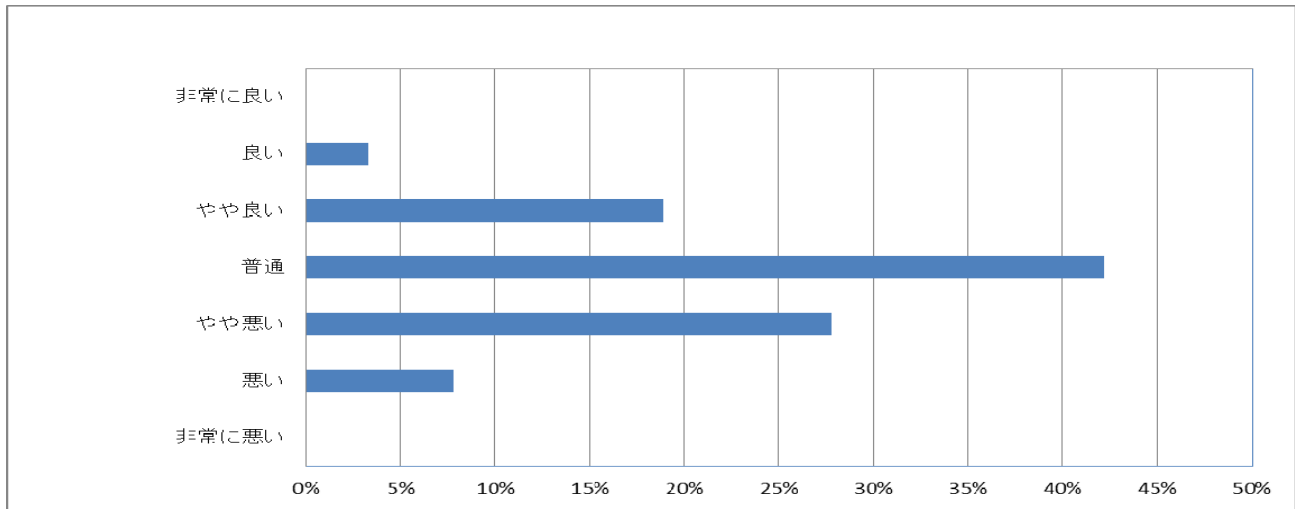


【不動産業 主要DI】

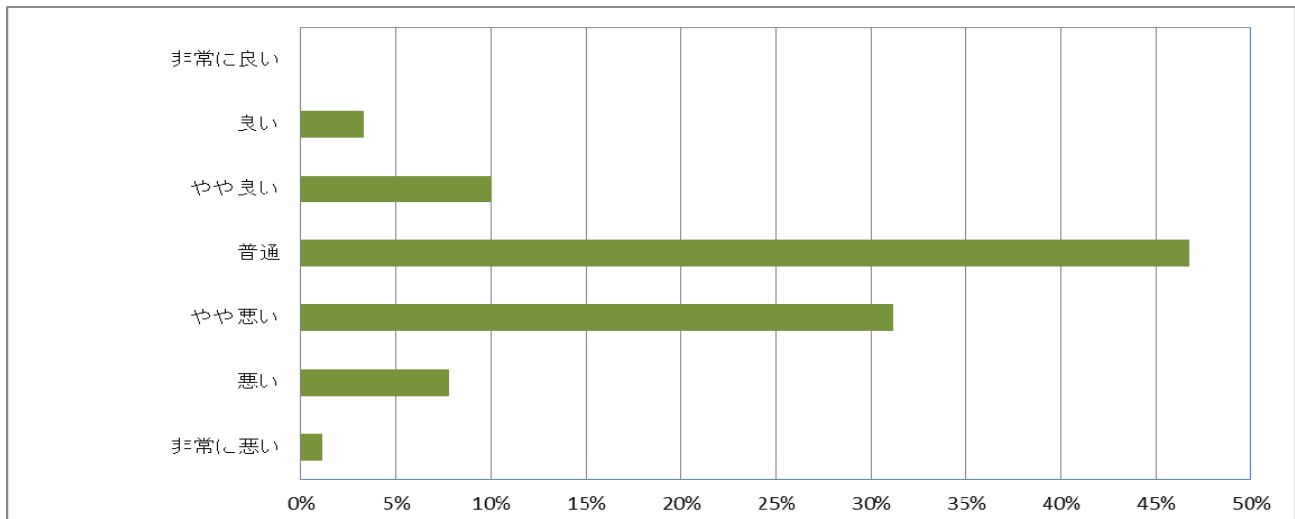
	30年 3月	6月	前回 9月	今回 12月	次回 見通し 31年3月	方向 (前回比)
業況判断	▲25.0	0.0	20.0	0.0	0.0	↘
売上額	0.0	0.0	▲20.0	20.0	20.0	↗
収益	0.0	0.0	▲20.0	20.0	20.0	↗
販売価格	0.0	▲25.0	▲20.0	20.0	20.0	↗
仕入価格	0.0	▲25.0	▲20.0	20.0	20.0	↗
在庫	▲25.0	▲25.0	▲40.0	▲20.0	▲20.0	↗
資金繰り	▲25.0	▲25.0	▲40.0	▲20.0	▲20.0	↗
人手	▲25.0	▲25.0	▲40.0	▲20.0	▲20.0	↗

特別調査【2019年の経営見通し】

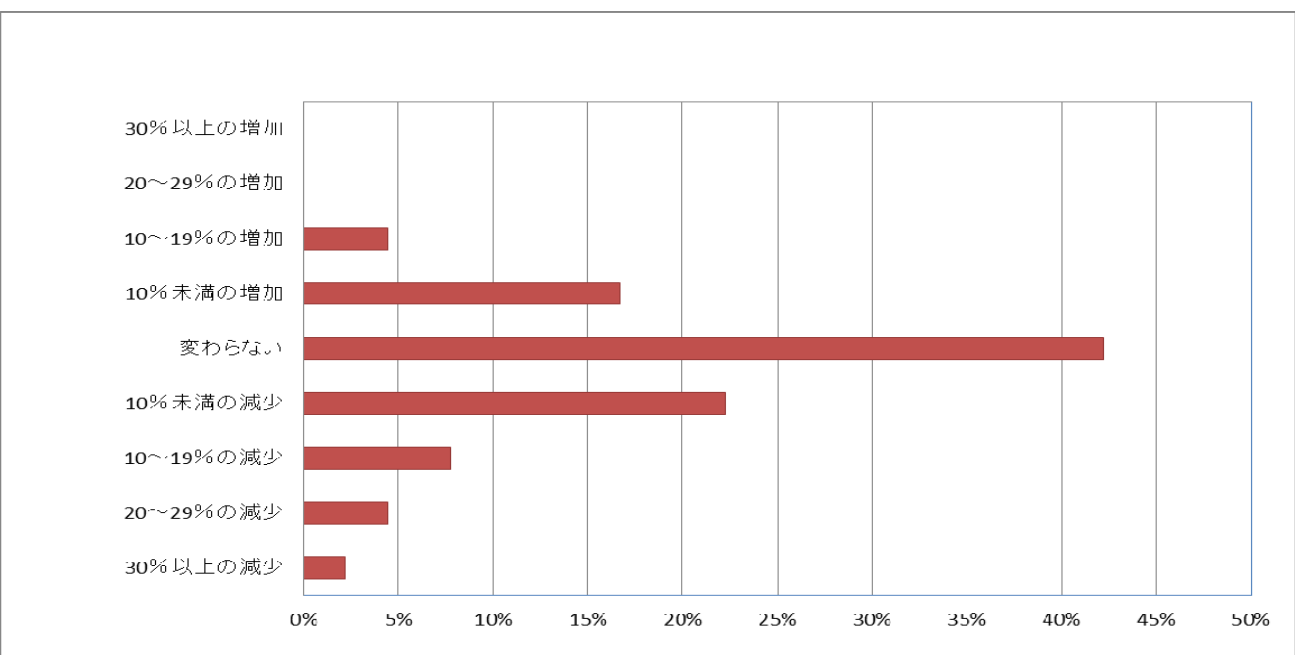
問1. 貴社では、2019年の日本の景気をどのように見通していますか。



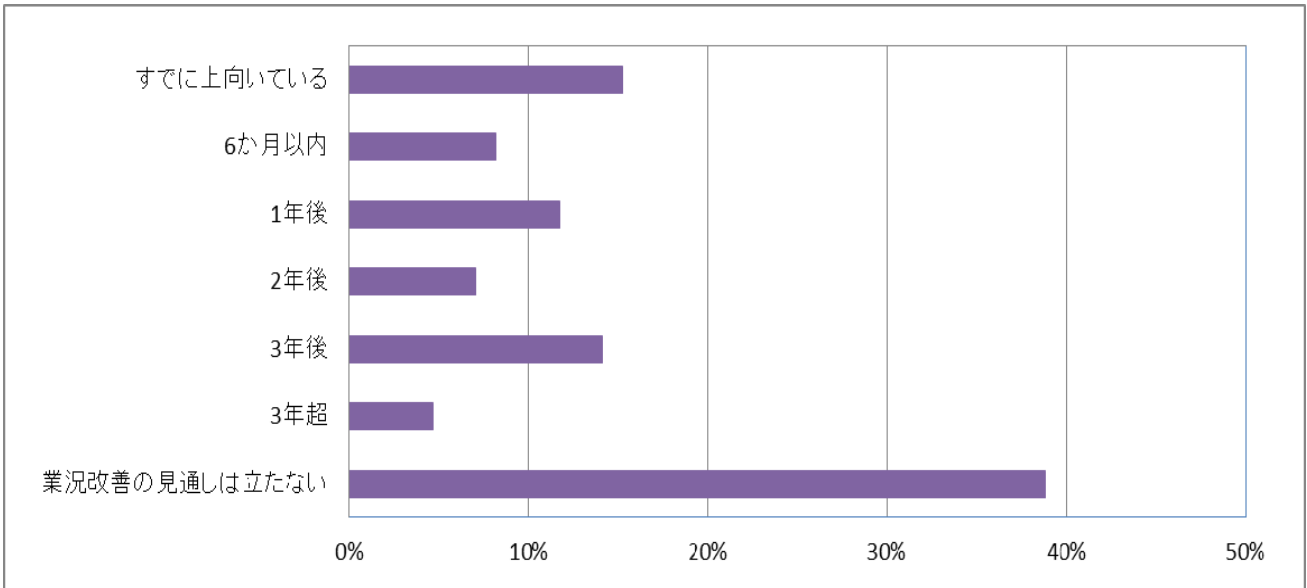
問2. 貴社では、2019年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。



問3. 2019年において貴社の売上額の伸び率は、2018年の比べておおよそどのくらいになると見通していますか。



問4. 貴社では、自社の業況が上向き転換点をいつ頃になると見通していますか。



問5. 2018年は、地震や台風などの自然災害が相次いだほか、豪雪・寒波や豪雨、猛暑といった異常気象も各地で発生しました。2018年の貴社の経営について、最も影響を受けた自然災害や異常気象、また、受けた影響についてお答えください。

